

**製品名: ECT2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86067**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	103.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ECT2
別名	Protein ECT2, Epithelial cell-transforming sequence 2 oncogene, ECT2
遺伝子 ID	1894.0
SwissProt ID	Q9H8V3
免疫原	この ECT2 抗体は、ヒト ECT2 由来の 200 ~ 460 アミノ酸の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

**背景**

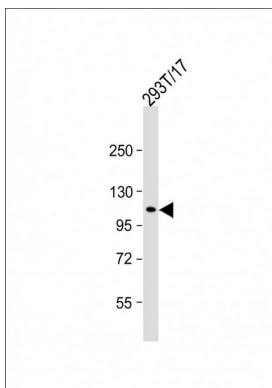
グアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) は、GDP から GTP への交換を触媒します。RHOA、RHOC、RAC1、CDC42 などの小さな

GTPase の Rho ファミリー メンバー上でグアニンヌクレオチドの交換を促進します。細胞質分裂の調節に関するシグナル伝達経路に必要です。細胞周期の細胞質分裂中にミオシン収縮環の形成に必要な、微小管依存性および Rho 媒介シグナル伝達として機能するセントラルスピンドリン複合体の構成要素です。RHOA の中央紡錘体から赤道領域への移行を制御します。有糸分裂紡錘体の組み立ての制御に役割を果たし、染色体会合の前に紡錘体繊維を動原体に付着させるプロセスのために中期で CDC42 の活性化を制御します。上皮細胞の極性の調節に関与します。極性複合体 PARD3-PARD6-タンパク質キナーゼ PRKCQ 依存的に上皮タイトジャンクションの形成に関与する。神経突起伸展の調節に関与する。フェノバルビタール (PB) 誘導性の NR1I3 核移行を阻害する。癌細胞において、腫瘍形成因子 PARD6A-PRKCI 複合体との会合を介して RAC1 の活性を刺激し、腫瘍細胞の増殖と浸潤を協調的に促進する。また、乳癌細胞において遺伝毒性ストレス誘導性の RHOB 活性を刺激し、細胞死を誘導する。

## 研究分野

-

## 画像データ



抗 ECT2 抗体 (1:1000 希釈) + 293T/17 全細胞ライセート